

愛は南から――

子育て支援グループ

こぶたたんぽぽポケットとんぼ



「こぶたのお家」でベビーマッサージを楽しむ親子

「はい、次はお腹です。目と目を合わせて優しく撫でていきましょう」

掛け声にあわせて、お母さんたちがお腹を触り始めると赤ちゃんはゆったりリラックス。気持ち良さそうに笑います。

これは、子育て支援グループ「こぶたたんぽぽポケットとんぼ」（増田和恵代表）が月に1回開催しているベビーマッサージ交流の一場面。ベビーマッサージは、お母さんが赤ちゃんに愛情を伝えるスキンシップの一つです。赤ちゃんはお母さんの手で触られることで、愛されている幸福感に満たされ、お母さんも愛情ホルモンが出て情緒の安定につながる効果があると言われています。

この日は、8組のお母さんと赤ちゃんが参加。育児アドバイザーの林志麻さんから教わりながら、約30分のベビーマッサージ



ジで親子のふれあいを楽しみました。

「普段は、ここまでしっかりと触ることがないので、いい体験になりました」など初めて参加したお母さんたちからも好評です。

マッサージ後の座談は、同世代の子を持つ親同士が交流できる貴重な場。悩みを共有したりストレスの解消に役立っています。

子育てに寄り添ったサポート

子育て支援グループ「こぶたたんぽぽポケットとんぼ」の設立は、平成2年。以来、遊びを通じて親子が触れ合うことを大切にしながら、誰でも楽しく集える場づくりを続けています。平成29年2月からはJ A えひめ



こぶたのお家
愛南町城辺甲 2652 番地
TEL 73-7321

南の協力を得て、場所を移して「こぶたのお家」としてスタート。代表を務める増田和恵さんは、「お母さんの子育てに寄り添い、ときには悩みを聞いたりしながら、子育てが楽しくなるようにサポートしたい」と話します。

そんな思いを実現するのが「つどいの広場」です。毎週月曜日から金曜日までと、第1土曜日の10時から16時まで「こぶたのお家」には常時2人の育児アドバイザーがスタンバイして、子育て中の悩み相談に応じています。

乳幼児に限らず小学生以上が利用できるイベントも開催予定。増田代表は「お気軽に、おしゃべりしにきてくださいね」と呼びかけています。